

薬の窓口

No. 265

岡山大学病院薬剤部 薬品情報室発行 平成 28 年 4 月 1 日

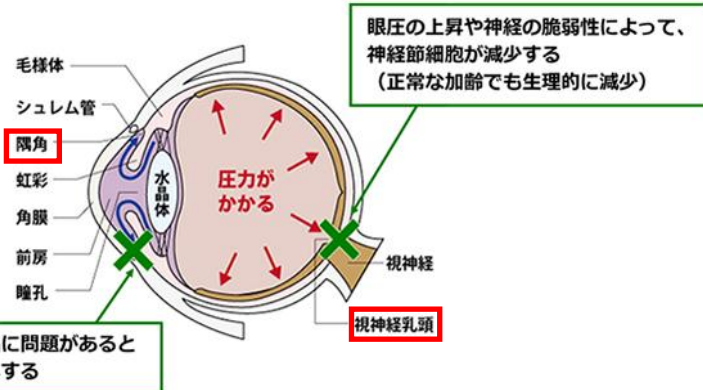
日本における失明原因の 1 位が緑内障であることを知っていますか。緑内障は、進行性の疾患であり、長期間の治療や定期的な経過観察が必要です。自覚症状が少ないので眼科での定期健診はとても大切です。

●緑内障とはどんな病気？

緑内障は眼圧が上がり、視神経（視神経乳頭）が圧迫され、目が見えにくくなる疾患です。房水（眼の中にある水分）を減らして眼圧を十分に下げることによって視神経障害の改善、進行を阻止することができます。

緑内障は 3 種類あります。

原因がわからないものを「原発緑内障」、他の疾患や薬の使用が原因のものを「続発緑内障」、隅角（眼の中の水分を流出させる部分）の発達異常によるものを「発達緑内障」と分類しています。原発緑内障には「開放隅角緑内障」と「閉塞隅角緑内障」があります。



原発緑内障	開放隅角緑内障	<ul style="list-style-type: none">・ 緑内障全体の 80% を占める・ 慢性的に進行し、眼の神経と視野に障害が起こる・ 隅角は開放されていて、房水は流出できる・ 眼圧は正常範囲内のこともある（正常眼圧緑内障）・ 薬で眼圧が下がらない場合は手術を行う
	閉塞隅角緑内障	<ul style="list-style-type: none">・ 中年以降の女性に多い・ 急性、または慢性に起こる・ 激しい眼痛、悪心・嘔吐、頭痛、視力低下が起こる・ 隅角が閉じており、房水が流出できない・ 薬で眼圧コントロールを行った後、手術を行う
続発緑内障		<ul style="list-style-type: none">・ ステロイドの使用、眼の炎症や外傷による眼圧上昇・ 開放隅角の場合もあれば、閉塞隅角の場合もある
発達緑内障		<ul style="list-style-type: none">・ 生まれつき隅角に異常がある・ 眼球そのものが大きくなる場合がある・ 特に乳幼児の緑内障は急速に発達する・ 多くの場合、早期に手術する

●主な緑内障の治療薬

<プロスタグランジン製剤>

【効果】房水を外に流出させることで眼圧を下げる点眼薬です。

【代表的な薬剤】ラタノプロスト（キサラン点眼液）など。

【副作用】長く使用を続けていると、まつ毛の多毛、目のまわりの色素沈着、茶目の色調変化が起こることがあります。



<β受容体遮断薬>

【効果】β受容体という場所に作用して、房水の産生を抑える目薬です。

【代表的な薬剤】カルテオロール（ミケラン点眼液）など。

【副作用】β受容体遮断薬は眼のみではなく、全身に副作用が起こる可能性があります。なかでも喘息や心不全の方には使用できません。全身の副作用を予防するため、点眼後 1~5 分は閉眼し涙嚢部（目頭のやや鼻より）を圧迫するようにしてください。

<炭酸脱水素酵素阻害剤>

【効果】炭酸脱水素酵素という成分を抑えることで房水の産生を抑える目薬です。目薬以外に飲み薬、注射薬があります。

【代表的な薬剤】ドルゾラミド（トルソプト点眼液）、アセタゾラミド（ダイアモックス注射用、錠）など。

【副作用】飲み薬、注射薬では腎・尿路結石、低K血症（四肢のしびれ）、食欲不振などが起こることがあります。

<その他の緑内障治療薬>

【配合剤】コソプト配合点眼液（チモロールとドルゾラミド）など。

【α₂受容体刺激薬】房水の産生を低下させます。

【副交感神経刺激薬】隅角を開いて房水を流出させます。発作時に使用します。

【交感神経刺激薬】房水の産生を抑制し、房水の流出も促進させます。

【Rhokinase阻害薬】房水の流出しにくさを改善します。

●眼圧上昇をきたす薬

緑内障にかかっている方は、眼圧を上昇させる可能性のある薬の使用に注意してください。眼圧を上昇させる薬は大きく 2 つあり、①隅角を閉塞させて眼圧を上昇させるものと、②隅角に影響せずに眼圧を上昇させるものがあります。①の薬の多くが閉塞隅角緑内障に禁忌となっています。病院や薬局でもらう薬だけではなく、ドラッグストアで販売されている風邪薬の中にも①、②の作用をもつ薬が含まれていることがあります。新しく薬を使うときは、必ず医師・薬剤師に緑内障であることを伝えるようにしてください。

●点眼薬使用上の注意

- ・ 点眼前に手を洗う
- ・ 点眼瓶の先がまつ毛に触れないようにする
- ・ 点眼は 1 回 1 滴とする
- ・ 点眼後は静かに閉眼し、涙嚢部を圧迫する
- ・ 眼の周囲にあふれた薬液は拭き取る
- ・ 複数の点眼液を併用するときは、5 分以上の間隔をあける
- ・ 決められた回数より多く点眼しても、効果は増加せず副作用が増強する



<参考>

e-mediceo (<https://www.e-mediceo.com/diweb/commentary/glaucoma/index.html>)

日本眼科学会 H P (http://www.nichigan.or.jp/public/disease/ryokunai_ryokunai.jsp)

薬がみえる vol. 2

